

建築研究所 ニュース



平成22年6月25日

「太陽熱利用に関する国際シンポジウム」の開催について

(専門紙記者懇談会資料)

平成22年6月25日に国土交通省で開催しました、「建築研究所 第4回専門紙記者懇談会」の配付資料をご案内します。

(内容の問い合わせ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 総務部総務課

氏名 大高 茂則

電話 029-879-0605(直通)

E-mail ootaka@kenken.go.jp

「太陽熱利用に関する国際シンポジウム」の開催について

概要

温暖化対応は世界の最重要課題の一つであり、化石エネルギーから非化石エネルギーへの転換が求められています。そのなかで、太陽エネルギーは極めて有用な自然エネルギーとして利用拡大が期待されており、そのためにわが国でも太陽光発電の普及が進められているところです。しかしながら、住宅におけるエネルギー消費の最大用途である給湯用としての太陽熱利用は、極めて低調な状況が続いています。

本シンポジウムは、このような状況を打破し、太陽熱の有効利用を図ることをねらいとして、太陽熱のパッシブ利用や暖冷房・給湯用の太陽熱利用機器・システムに関する技術情報や研究開発状況についての情報交流・意見交換・成果の普及を目的として開催するものです。併せて、太陽熱利用において世界最大の生産量とストックを有する中国の専門家を招いて、その状況や今後の動向を伺います。

1. 名 称

太陽熱利用に関する国際シンポジウム

2. 日 時

平成22年6月28日(月)12:50-16:40

3. 場 所

すまい・るホール

(東京都文京区後楽 1-4-10)

4. 主 催

独立行政法人 建築研究所

東京都市大学

中国建築科学研究院

5. 共 催

ソーラーエネルギー利用推進フォーラム (日本ガス体エネルギー普及促進協議会)

6. 参 加 費

無料 (ただし事前登録あり)

7. 資 料

無料配布

問い合わせ先

日本ガス体エネルギー普及促進協議会 [事務局] 日本ガス協会業務部

江口・勝呂・田野井

FAX : 03-3502-0675

TEL : 03-3502-0115

メールアドレス : tnr-s@gas.or.jp

※定員 : 200 名

問い合わせ先

環境研究グループ

上席研究員 桑沢保夫

Tel 029-864-6683

e-mail kuwasawa@kenken.go.jp

プログラム

挨拶	東京都市大学 中村学長、 中国建築科学研究院 李副院長、 独立行政法人建築研究所 村上理事長
基調講演 13:00-13:20	「低炭素化社会へ向けて ～太陽熱利用に期待する～」 独立行政法人建築研究所 理事長 村上 周三 氏
特別講演 13:20-14:40	「国土交通省における取り組み」 国土交通省住宅局住宅生産課 企画専門官 山下 英和 氏
	「中国における太陽熱利用技術とその普及状況ならびに将来動向について」 中国建築科学研究院 建築環境・省エネ研究院 副院長 路 氏
	「わが国における太陽熱利用と関連技術の現状ならびに将来動向について」 東京都市大学都市生活学部 教授 坊垣 和明 氏
《休憩》	14:40-14:55
一般講演 14:55-16:40	「自然のポテンシャルを活かした暖冷房技術」 東京都市大学環境情報学部 教授 宿谷 昌則 氏
	「中国における太陽熱利用製品の品質検査状況について」 中国建築科学研究院 高級工程士、 中国再生可能エネルギー学会熱利用専門委員会 事務長 何 濤 氏
	「住宅分野における太陽熱利用への期待」 積水ハウス（株） 総合住宅研究所長 木村 文雄 氏 「集合住宅向け太陽熱温水システム」 東京ガス（株） リビング企画部長 村関 不三夫 氏
	「ソーラーエネルギー利用推進フォーラムにおける取り組み」 神戸芸術工科大学 教授 小玉 祐一郎 氏 「環境共生建築における太陽熱利用技術」 東京都市大学都市生活学部 教授 岩村 和夫 氏